

令和6年7月12日

介護福祉士国家試験パート合格の導入に関する検討会  
構成員各位

公益社団法人全国老人保健施設協会  
副会長 平川 博之

### 介護福祉士国家試験パート合格の導入に関する意見

1. 質の高いケアを提供し続けていくためには、原則、介護職は全て介護福祉士の資格を所持していることが望ましい（老健施設では介護職のうち介護福祉士の占める割合は平均7割\*で、介護サービスの中で最も高い）。
2. 日本人・外国人に限らず、資格取得の機会を増やすことは賛成である。
3. 介護福祉士合格の約9割は実務ルートであるため、パート合格の導入により働きながら資格取得を目指すというモチベーションが高くなるのが期待できるのではないか。
4. 外国人の養成校ルートの場合、現状は経過措置があり、修了後みなし介護福祉士として評価されているが、パート合格が導入されれば経過措置延長の有無に限らず、受験の継続意欲が期待できる。
5. また、今後外国人介護人材のキャリアパスの観点からからも、育成就労制度から特定技能、そして実務ルートによる介護福祉士資格の取得が期待できる。

※別添「第230回社会保障審議会介護給付費分科会資料」より算出

以上

# 介護職員に占める介護福祉士の割合

別添

○ 介護サービス施設・事業所に実際に配置されている介護職員のうち、介護福祉士の割合は約54.7%となっている。

	介護職員	うち、介護福祉士	うち、10年以上介護福祉士
配置数の総数[人] ※常勤換算職員数、( )内 は介護職員全体に対する割 合[%]	1,424,441	778,781 (54.7%)	206,361 (14.5%)

(参考)各職種の有資格者の配置数(1事業所・施設あたり平均)

配置数[人] ※常勤換算職員数	介護職員			医師	薬剤師	看護師 *1	准看護 師*1	管理 栄養士	栄養士	理学 療法士 *1	作業 療法士 *1	言語 聴覚士 *1	介護支 援専門 員	社会 福祉士 *2
	介護 福祉士	10年 以上 介護福祉 士												
通所介護	6.1	2.8	0.6	—	—	1.0	0.8	—	—	0.2	0.1	0.0	—	0.1
介護老人福祉施設	30.3	18.9	5.8	0.2	—	2.7	1.7	1.0	0.2	0.2	0.1	0.0	1.2	0.4
介護老人保健施設	27.4	18.6	7.4	1.1	0.3	6.0	4.0	1.2	0.2	2.4	1.6	0.4	1.5	0.8

\*1 通所介護・介護老人福祉施設に機能訓練指導員として配置されている者を含む

\*2 通所介護・介護老人福祉施設に生活相談員として、介護老人保健施設に支援相談員として配置されている者

(出典)介護サービス施設・事業所調査(令和3年度)の結果に基づき老人保健課で作表